

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
人間福祉学部	社会福祉学科 社会福祉専攻	夜・通信	—	6	9	15	13	
	社会福祉学科 介護福祉専攻	夜・通信			21	27	13	
	共生社会学科	夜・通信			10	16	13	
子ども未来学部	子ども未来学科	夜・通信		—	18	18	13	
子ども教育学部	子ども教育学科	夜・通信		—	18	18	13	
人間科学部	心理学科	夜・通信		—	19	19	13	
(備考)								
・子ども未来学部は令和7年度から学生募集を停止し、子ども教育学部に改組したため、子ども教育学部は教育課程の変更途上である。								
【子ども教育学部】は1～2年生								
【子ども未来学部】は3～4年生								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページの下記アドレス内の「実務経験のある教員による授業科目一覧」にて公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページの下記アドレス内の「学校法人調布学園役員一覧」にて公表する。

<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	2026. 6. 1 ～ 4 年間	社会連携等
非常勤	官庁 参与	2026. 6. 1 ～ 4 年間	政策推進等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスの記載項目は、「授業方法」、「授業の概要」、「授業計画及び事前・事後学修」、「到達目標」、「評価方法及び評価基準」等となっており、当該授業で学生が自身の資質・能力の向上のために何をどのように学ぶことが期待されているのか、その結果何ができるようになるのかを説明している。 また、上記に加え、授業期間を通じて課される課題（試験やレポート等）の内容や課題に対するフィードバック（講評の方法等）、履修上のルール、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業である場合はその旨を記載することとしている。 なお、実務経験のある教員がその実務経験を生かし実践的教育を行っている授業科目や主として実践的教育から構成される実習等の授業科目については、その旨を記載している。 各授業科目のシラバスの作成に際しては、卒業認定・学位授与の方針に基づく課程修了時の資質・能力と当該科目との関係性を示し、各種資格取得に係る授業科目については、教育に含むべき内容を反映させることに留意することとしている。 上記、シラバスの作成にあたっては、前年度12月にシラバス作成方法に関する研修会を実施した上で各科目担当者に執筆依頼をしている。執筆後は、学部長・学科長、教務委員会、教職課程委員会、FD・SD委員会等で記載内容の点検作業を実施し、不備が認められる場合には科目担当者に修正を依頼している。これらを経て、前年度3月下旬にシラバスを公表している。
授業計画書の公表方法	本学ホームページの下記アドレス内の「開設科目シラバス(学部)」において、シラバス検索システムを通じて公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、授業科目を履修し、試験その他大学が定める適切な方法により合格点に達した者に所定の単位を与えると定め、試験の方法については、試験規程において、筆記、口述または実技もしくはレポートによると定めている。また、成績評価の点数区分及び単位認定に係る合否の判定に関しては、履修規程において成績評価及び合否判定の区分を明確に規定している。この単位認定基準は新年度のオリエンテーションを通じて全学生に説明して周知している。

また、各授業科目の到達目標を踏まえた成績評価基準については、すべてのシラバスにおいて成績評価の方法とともに明示し、履修学生に対し各科目担当教員が授業開始時にその説明を行っている。

その上で科目担当教員は、単位認定基準及び授業科目ごとの成績評価基準に基づいて厳格かつ適正に成績を評価し、単位の認定を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【成績評価における客観的な指標】

本学では、学生の学修状況に関する総合的な評価を示すため、履修科目の成績評価を点数化するGPA（グレード・ポイント・アベレージ）を採用している。

各評価のポイント及びGPAの算出方法等は次のとおりである。

① 各評価のポイント	成績評価	ポイント
	S	4点
	A	3点
	B	2点
	C	1点
	D	0点

② GPAの算出方法

履修科目の成績評価に対するポイントに当該科目の単位数を乗じてグレード・ポイントを算出し、その数値の合計を総履修単位数で除してグレード・ポイント・アベレージを算出する（小数点第3位以下四捨五入）。

- ・GPAは、前期及び後期の各学期末に算出し、成績通知の際に表示する。
- ・GPAの算出に当たり、単位認定科目及び「卒業研究」並びに卒業要件単位数に含まれない科目の単位は除外する。

③利用方法

- ・GPAは、「専門演習」及び「ゼミナール」の配属並びに奨学金、優秀学生等の選抜その他学長が必要と認める場合において、その数値を参考とする。
- ・GPA3.2以上の学生は履修上限単位数を緩和する。
- ・当年度のGPAが1.2未満で、かつ、年次ごとの総修得単位数が30単位未満、当年度履修科目の授業出席率が平均40%未満の場合は、当該学生に対し段階的に注意、指導を行い、なお学修状況の改善が見られない時は、退学等の勧告を行うことがある。

【成績の分布状況の把握】

成績評価の客観的、総合的な指標として利用しているGPAについては、成績通知の際に表示するのみならず、学生が自己の成績の相対的な位置を知るために、成績の分布状況をグラフや表等を用いて開示し、学修成果を把握させるとともに、学修活動の改善・向上を促している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

本学ホームページの下記アドレス内に

- ・2019年度入学者用 履修要項
(子ども未来学部、人間科学部のみ)
- ・2021年度以降入学者用 履修要項 (人間福祉学部のみ)
- ・2026年度入学者用 履修要項 (全学部)

を掲載しており、「GPAについて」「履修規程」の各ページにおいて公表している。

<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html>
1

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学では、学則に定める各学部学科及び専攻における教育研究上の目的及び人材養成に関する目的に基づいて卒業認定・学位授与の方針を策定し、卒業までに学生が身につけるべき資質・能力（課程修了時の資質・能力）を具体的に示している。 卒業認定・学位授与の方針は、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針とともに一体的に運用し、本学のホームページを通じて公表しているほか、毎年度在学生に配付する「履修要項」に掲載し、教育課程編成・実施の方針との関係性も示して周知を図っている。 なお、学則及び学位規程において卒業認定基準、学位授与の要件を適切に定め、卒業認定・学位授与の方針に基づいて厳正に適用した上で、教授会における審議を経て学長が卒業を認定し、学位を授与している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3 方針」にて卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html
財産目録	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html
事業報告書	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html
監事による監査報告(書)	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の自己点検評価書」を公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 財団法人日本高等教育評価機構のホームページの下記アドレス内の「令和元年度大学機関別認証評価 評価報告書」を公表している。 https://www.jiheer.or.jp/kanbetsu/2019/09denen_chofu_university.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間福祉学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学学則」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
(概要) 田園調布学園大学学則第 1 条第 2 項にて、次のように教育研究上の目的を定めている。 人間福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻は、人の一生を通した多様な福祉ニーズに対応するために、一人ひとりの尊厳を尊重し、高い専門性を身につけた福祉の人材を養成することを目的とする。 人間福祉学部社会福祉学科介護福祉専攻は、介護を必要としている人の尊厳を保ち、生活を総合的に支援するために、専門的な知識と技術を合わせ持つ福祉の人材を養成することを目的とする。 人間福祉学部共生社会学科は、人の一生を通した多様な福祉ニーズに対応するために、心理と福祉の専門知識を活用して、福祉現場や教育現場において貢献できる人材を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学 3 方針」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
(概要) 田園調布学園大学 3 方針のうちディプロマ・ポリシーに次のとおり記載している。 人間福祉学部社会福祉学科は、人間理解を基礎として、共感性をもったコミュニケーションを通じて支援対象の課題を把握し、計画的に他者と連携・協働しながら課題解決を行い、誰もが安心して暮らせる社会の幸福を追求する高い専門性と福祉マインドを身につけた専門職の養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力（専門性）を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位（学士「社会福祉学」）を授与する。 人間福祉学部共生社会学科は、共生社会の実現に向けて高い共生社会マインドを修得した専門職の養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力（専門性）を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位（学士「社会福祉学」）を授与する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」にて公表している。

<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html>)

（概要）

田園調布学園大学3方針のうちカリキュラム・ポリシーに次のとおり記載している。

人間福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく社会福祉に関わる人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。

人間福祉学部社会福祉学科介護福祉専攻における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく社会福祉に関わる人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。

人間福祉学部共生社会学科における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく共生社会の実現に資する人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。

<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html>)

（概要）

田園調布学園大学3方針のうちアドミッション・ポリシーに次のとおり記載している。

【人間福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻】

社会問題に関心を持ち、他者および多機関と連携し、高い倫理観をもって問題解決に向き合うソーシャルワーク専門職を目指す学生。

【人間福祉学部社会福祉学科介護福祉専攻】

歳をとっても障害があっても、すべての人が命ある限り幸せに生きるために支援していきたいと考え、多様な視点を尊重しながら協力し合い、主体的に行動できる学生。

【人間福祉学部共生社会学科】

現代社会についての基礎的な知識を持ち、共生社会の実現に向けて、多様な人々と協働して学び、実践していく意欲を持った学生。

学部等名 子ども教育学部/子ども未来学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学学則」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
（概要） 田園調布学園大学学則第1条第2項にて、次のように教育研究上の目的を定めている。 子ども教育学部子ども教育学科は、子どもの最善の利益を守るために、子どもと社会について深く考え実践することのできる高い専門性を身につけた教師・保育者を養成することを目的とする。 ※「子ども未来学部子ども未来学科」は令和7年に「子ども教育学部子ども教育学科」へ改組した。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
（概要） 田園調布学園大学3方針のうちディプロマ・ポリシーに次のとおり記載している。 子ども教育学部子ども教育学科は、子どもの最善の利益のために、高い専門性と教育・保育マインドをそなえた専門職を担う人材養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力（専門性）を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位（学士「子ども教育学」）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
（概要） 田園調布学園大学3方針のうちカリキュラム・ポリシーに次のとおり記載している。 子ども教育学部子ども教育学科における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく教育・保育に関わる人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
（概要） 田園調布学園大学3方針のうちアドミッション・ポリシーに次のとおり記載している。 子どもや子どもを取り巻く社会の問題に興味・関心を持ち、家庭や地域等と連携して、子どもの成長・発達にふさわしい教育・保育を実践したいと考える学生。

学部等名 人間科学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学学則」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
（概要） 田園調布学園大学学則第1条第2項にて、次のように教育研究上の目的を定めている。 人間科学部心理学科は、多様な人々が共生するうえで生じる課題に対して、心理学の知識と技法に基づく支援を行い、共生社会の実現に寄与する人材を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
（概要） 田園調布学園大学3方針のうちディプロマ・ポリシーに次のとおり記載している。 人間科学部心理学科は、様々な心理的困難に直面している人々の支援や心理的健康の保持増進に寄与するため、高い専門性と心理・生涯教育マインドをそなえた人材の養成を目的とする。そのため、全学共通のディプロマ・ポリシーを基盤として、以下に掲げる DCU 学士力（専門性）を身につけ、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定し、学位（学士「心理学」）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
（概要） 田園調布学園大学3方針のうちカリキュラム・ポリシーに次のとおり記載している。 人間科学部心理学科における教育課程は、大きく「総合教育科目」と専門科目である「専門基礎科目」・「専門発展科目」に区分し、それぞれ構成する授業科目は、学位授与方針に基づく心理学・生涯教育に関わる人材として、課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。
入学者の受入れに関する方針（本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html ）
（概要） 田園調布学園大学3方針のうちアドミッション・ポリシーに次のとおり記載している。 人の心や行動に興味関心を持ち、心理学という視点からの学びを深めることによって、自分も他者も大切に作る心を育て社会で活躍できる学生。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「学部・学科構成」にて公表している。 https://www.dcu.ac.jp/school/composition/index.html
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
人間福祉学部	－	11 人	9 人	6 人	－ 人	－ 人	26 人
子ども未来学部	－	5 人	2 人	－ 人	1 人	－ 人	8 人
子ども教育学部	－	5 人	3 人	1 人	－ 人	－ 人	9 人
人間科学部	－	6 人	3 人	－ 人	－ 人	－ 人	9 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		100 人					100 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「教員紹介」にて学科ごとに公表している。 https://www.dcu.ac.jp/school/composition/index.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間福祉学部	160 人	119 人	74.4%	640 人	548 人	85.6%	- 人	7 人
子ども未来学部	- 人	- 人	- %	180 人	109 人	60.6%	- 人	- 人
子ども教育学部	80 人	85 人	106.3%	160 人	168 人	105%	- 人	- 人
人間科学部	60 人	73 人	121.7%	220 人	247 人	112.3%	- 人	6 人
合計	300 人	277 人	92.3%	1200 人	1072 人	89.3%	- 人	13 人

(備考)

- ・令和 7 年度より子ども未来学部を子ども教育学部へ改組。子ども未来学部については令和 7 年度より入学者の募集を停止。
- ・人間福祉学部、人間科学部の「編入学定員」は令和 7 年度より廃止し、若干名の募集としている。

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間福祉学部	146 人 (100%)	1 人 (0.7%)	141 人 (96.6%)	4 人 (2.7%)
子ども未来学部	62 人 (100%)	0 人 (0%)	59 人 (95.2%)	3 人 (4.8%)
子ども教育学部	- 人 (-%)	- 人 (-%)	- 人 (-%)	- 人 (-%)
人間科学部	43 人 (100%)	5 人 (11.6%)	31 人 (72.1%)	7 人 (16.3%)
合計	251 人 (100%)	6 人 (2.4%)	231 人 (92.0%)	14 人 (5.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 子ども教育学部は令和 7 年度新設のため、卒業者なし。				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

シラバスの記載項目は、「授業方法」、「授業の概要」、「授業計画及び事前・事後学修」、「到達目標」、「評価方法及び評価基準」等となっており、当該授業で学生が自身の資質・能力の向上のために何をどのように学ぶことが期待されているのか、その結果何ができるようになるのかを説明している。

また、上記に加え、授業期間を通じて課される課題（試験やレポート等）の内容や課題に対するフィードバック（講評の方法等）、履修上のルール、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業である場合はその旨を記載することとしている。

なお、実務経験のある教員がその実務経験を生かし実践的教育を行っている授業科目や主として実践的教育から構成される実習等の授業科目については、その旨を記載している。

各授業科目のシラバスの作成に際しては、卒業認定・学位授与の方針に基づく課程修了時の資質・能力と当該科目との関係性を示し、各種資格取得に係る授業科目については、教育に含むべき内容を反映させることに留意することとしている。

上記、シラバスの作成にあたっては、前年度 12 月にシラバス作成方法に関する研修会を実施した上で各科目担当者に執筆依頼をしている。執筆後は、学部長・学科長、教務委員会、教職課程委員会、FD・SD 委員会等で記載内容の点検作業を実施し、不備が認められる場合には科目担当者に修正を依頼している。これらを経て、前年度 3 月下旬にシラバスを公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

(各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、授業科目を履修し、試験その他の大学が定める適切な評価方法により合格点に達した者は所定の単位を与えると定め、試験の方法については、試験規程において、筆記、口述または実技もしくはレポートによると定めている。また、成績評価の点数区分及び単位認定に係る合否の判定に関しては、履修規程において成績評価及び合否判定の区分を明確に規定している。この単位認定基準は新年度のオリエンテーションを通じて全学生に説明して周知している。

また、各授業科目の到達目標を踏まえた成績評価基準については、すべてのシラバスにおいて成績評価の方法とともに明示し、履修学生に対し各科目担当教員が授業開始時にその説明を行っている。

その上で科目担当教員は、単位認定基準及び授業科目ごとの成績評価基準に基づいて厳格かつ適正に成績を評価し、単位の認定を行っている。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、学則に定める各学部学科及び専攻における教育研究上の目的及び人材養成に関する目的に基づいて卒業認定・学位授与の方針を策定し、卒業までに学生が身につけるべき資質・能力（課程修了時の資質・能力）を具体的に示している。

卒業認定・学位授与の方針は、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針とともに一体的に運用し、本学のホームページを通じて公表しているほか、毎年度在学生に配付する「履修要項」に掲載し、教育課程編成・実施の方針との関係性も示して周知を図っている。

なお、卒業の認定および学位授与に際しては、学則及び学位規程において卒業認定基準、

学位授与の要件を適切に定め、卒業認定・学位授与の方針に基づいて厳正に適用している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間福祉学部	社会福祉学科 社会福祉専攻	124 単位	有・無	単位
	社会福祉学科 介護福祉専攻	124 単位	有・無	単位
	共生社会学科	124 単位	有・無	単位
子ども未来学部	子ども未来学科	124 単位	有・無	単位
子ども教育学部	子ども教育学科	124 単位	有・無	単位
人間科学部	心理学科	124 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

本学ホームページの下記アドレスにてキャンパスマップを掲載している。

<https://www.dcu.ac.jp/overview/campusmap/index.html>

本学ホームページの下記アドレスにてアクセス（交通案内）を掲載している。

<https://www.dcu.ac.jp/access/index.html>

本学ホームページの下記アドレス内の「修学、進路選択、心身の健康等に係る支援」に「学生生活ガイド 2025」の全文を公開しており、その中に各校舎の施設案内を掲載している。

<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
全学部全学科共通		700,000 円	300,000 円	440,000 円	施設費 440,000 円 2019 年度以降入学生対象

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）本学ホームページの下記アドレス内の「修学、進路選択、心身の健康等に係る支援」に「学生生活ガイド 2026」の全文を公開し、その中に「学生生活のはじめに」について掲載している。それとは別に「履修要項」の全文を公開している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）本学ホームページの下記アドレス内の「修学、進路選択、心身の健康等に係る支援」に「学生生活ガイド 2026」の全文を公開しており、その中に「進路支援」について掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）本学ホームページの下記アドレス内の「修学、進路選択、心身の健康等に係る支援」に「学生生活ガイド 2025」の全文を公開しており、その中に「健康な学生生活を過ごすために」を掲載している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学のホームページの下記アドレスに教育研究上の情報を公表している。 https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F114310104847
学校名（〇〇大学 等）	田園調布学園大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 調布学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		261人（123）人	248人（115）人	274人（136）人
内 訳	第Ⅰ区分	109人	100人	
	（うち多子世帯）	（ 26人）	（ 16人）	
	第Ⅱ区分	43人	37人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅲ区分	22人	17人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	24人	26人	
	区分外（多子世帯）	63人	68人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				274人（133）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	一人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	14人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	一人	人	人
計	21人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	一人
訓告	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	一人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	43人	人	人
計	46人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。